



平成22年1月22日

記者配布資料

大阪経済記者クラブ会員各位

「商店街・賑わいプロジェクト」事業 「100円商店街」の推進・普及について ～大阪市内初の「100円商店街」実施決定 千林商店街にて京阪電気鉄道開業100周年とタイアップ～

【お問合せ先】

大阪商工会議所 中小企業振興部
(松澤・堤)

TEL. 06-6944-6440

【概要】

- 大阪商工会議所は、「商店街・賑わいプロジェクト」事業の一環として、商店街全体をひとつの100円ショップに見立て、各店が選り抜きの100円商品を用意する事業「100円商店街」の推進・普及を目指す。
- その第一弾事業として、今年100周年を迎える千林商店街が開催する「発祥100年祭」のオープニングイベント「せんばやし100円商店街」を4月3日に実施する。大阪市内で「100円商店街」が実施されるのは今回が初めて。同じく開業100周年を迎える京阪電気鉄道(株)とも協働し、商店街における地域連携強化、個店繁盛等を支援する。

【開催概要】

- 日時：平成22年4月3日(土) 10:00～17:00(予定)
- 場所：千林商店街(大阪市旭区千林1丁目)
- 内容：千林商店街の各店舗が、選り抜きの100円の商品を用意し、商店街全体をひとつの100円ショップに見立てて販売する。
同事業を通じ、商店街に賑わいを作り出し、新規顧客の開拓につなげる。

<添付資料>

- 資料1. 「100円商店街」の推進・普及について
- 資料2. 「せんばやし100円商店街」の実施について
- 資料3. 「商店街フォーラム・大阪」に向けた作成資料等について
- 資料4. 「商店街・賑わいプロジェクト」全体概要
- 資料5. 「商店街・賑わい読本」1～4号
- 資料6. 「商店街・賑わい読本 映像編」1～2号
- 資料7. 「商店街フォーラム・大阪」パンフレット

以上



平成22年1月22日

「商店街・賑わいプロジェクト」事業

「100円商店街」の推進・普及について

大阪商工会議所
流通活性化委員会

1. 趣 旨：

- 全国では、様々な商店街活性化事業が実施されているが、汎用性や費用対効果などの面で、他商店街が導入できる事例は極めて限られている。また、商店街への集客効果はあっても、お客様が「店の前を通過するだけ」「お店には入ってこない」など、「人を集めるだけでは、モノは売れない」という現実には直面している商店街も少なくない。
- そんな中、山形県新庄市でスタートした「100円商店街」は、集客効果だけでなく、各店の売上げ増加、新規顧客の獲得に結びつく商店街活性化事業であり、費用対効果や汎用性も高く、当地域の商店街でも有効活用できる事業と考えられる。
- 「100円商店街」は、すでに30ヶ所を超える全国各地の商店街で実施されており、関西圏では奈良県の生駒駅前商店街で過去5回、商店街だけでなく駅前の百貨店、スーパー等を含む9者との共催で開催され、商店街活性化に成果をあげている。
- 本所では、地域連携促進強化、個店繁盛支援等の観点から「100円商店街」が効果の高い取り組みであると判断し、「商店街賑わいプロジェクト」事業の一環として同事業の推進・普及を目指す。

※「100円商店街」とは？：商店街の各店が選り抜きの100円商品を用意し、商店街全体をひとつの100円ショップに見立てようという事業。100円商品を店頭で接客し、販売することで対面販売の良さを知っていただくと共に、その精算を店内で行うことにより、お店の雰囲気や商品を知っていただき、リピーターを定着させることが狙い。

2004年7月、山形県新庄市の新庄南本町商店街で最初の試みが行われ、2日間の開催で2万人を誘客する。また、その後の商店主へのアンケートでは、客数「大幅増」が27%、「微増」が15%と、全体の42%が「継続的な売上げ効果がある、リピーターが増えた」と回答をしたことから、一躍注目を集めるようになった商店街活性化事業である。

2. 事 業：

- ①「100円商店街セミナー」の開催：「100円商店街」を既に実施している生駒駅前商店街などの協力のもと、同事業の実施を目指す商店街関係者に対し、セミナーを開催する。
- ②「100円商店街」ノウハウ集の発行：「100円商店街」のガイドブックの発行（「商店街・賑わい読本（第4号）」として発行する。
- ③「100円商店街」ノウハウDVDの作成：「100円商店街」の事例紹介、ノウハウを映像で紹介するDVDの作成（「商店街・賑わい読本 映像編（第2号）」として作成する。
- ④「100円商店街見学会」の開催：奈良県生駒駅前など「100円商店街」を実施する地域への視察・説明会を実施する。
- ⑤「100円商店街サポーター制度」の創設：「100円商店街」の実施を希望する商店街に同事業に精通したサポーターを派遣し、具体的な指導を行う。
- ⑥「100円商店街」の開催：「100円商店街」を大阪市内の商店街で具体的に実施し、推進・普及に努める。（その第一弾事業として、千林商店街にて実施予定）

以 上



平成22年1月22日

「商店街・賑わいプロジェクト」事業

「せんばやし100円商店街」の実施について

大阪商工会議所
流通活性化委員会

1. 趣 旨：

- 本所では、商店街における地域連携強化、個店繁盛支援等の観点から「100円商店街」が効果の高い取り組みであるとし、「商店街・賑わいプロジェクト」事業の一環として「100円商店街」の推進・普及を目指す。
- その第一弾事業として、千林商店街が今年4月に開催する「発祥100年祭」のオープニングイベントとして、同じく開業100周年を迎える京阪電気鉄道(株)との協働により、「せんばやし100円商店街」を当地域における「100円商店街」のモデルケースとして開催する。

2. 名 称： 「せんばやし100円商店街」

3. 構 成： (主催) 大阪商工会議所、千林商店街振興組合
(協力) 京阪電気鉄道株式会社

4. 日 時： 2010年4月3日(土) 午前10時～午後5時

5. これまでの経緯：

(2009年)

- 9月10日 大商事務局より千林商店街(振)役員に100円商店街を説明
- 9月28日 生駒駅前商店街連合会稲森文吉会長による千林商店街(振)役員を対象とした「第1回100円商店街セミナー」を開催
- 10月24日 千林商店街(振)役員による生駒駅前商店街への「100円商店街見学会」を実施
- 11月25日 NPO 法人 AMP 斎藤一成氏による千林商店街(振)役員への「第2回100円商店街セミナー」を開催

(2010年)

- 1月15日 千林商店街(振)の組合員を対象とした「第3回100円商店街セミナー」を開催

6. 参 考：

- ①せんばやし発祥100年祭：今年3月下旬～11月上旬(予定)で「100」にちなんだイベントの開催などを実施する。4月2日にオープニング式典を開催し、オープニングイベントとして翌日に「せんばやし100円商店街」を予定している。詳細は今後決定する。
- ②千林商店街振興組合：同商店街そのものの発祥は明治43年(1910年)。昭和21年(1946年)8月商店会として組合が発足。昭和50年(1975年)2月千林商店街振興組合として法人化する。現在、組合員数193名、店舗数205店。理事長山本隆夫氏
- ③京阪電車の開業：明治43年(1910年)4月15日、天満橋～五条間を100分で結ぶ路線を開業する。

以 上



平成22年1月22日

「商店街・賑わいプロジェクト」事業

「商店街フォーラム・大阪」に向けた作成資料等について

大阪商工会議所
流通活性化委員会

1. 趣 旨：

- 大阪商工会議所では、地域商業の活性化支援を目的に「商店街・賑わいプロジェクト」を平成20年度より実施しており、その一環として、来る1月29日に「商店街フォーラム・大阪」を開催する。
- 同フォーラムでは、「商店街観光ガイドツアー」、「100円商店街」の2事業を本所が展開する商店街活性化事業として紹介する予定であり、両事業への理解を深めていただくことを目的とし、下記内容の通り、「商店街・賑わい読本」(第3号、第4号)及び「商店街・賑わい読本 映像編」(第1号、第2号)を作成し、「商店街フォーラム・大阪」当日に発表する。

2. 作成物：

(1) 「商店街・賑わい読本」(3、4号)

第3号 商店街ガイドツアー(「商店街観光ガイドツアー」の事例等を紹介)
表紙緑色、A4サイズ、全12ページ(カラー)

第4号 100円商店街(「100円商店街」の概要説明及び事例紹介)
表紙青色、A4サイズ、全8ページ(カラー)

※なお、平成20年11月には「商店街・賑わい読本」の第1号(割れ窓理論編)、第2号(商店街観光編)の2冊を同時に発行している。

(2) 「商店街・賑わい読本 映像編」(1、2号)

第1号 商店街ガイドツアー(「商店街観光ガイドツアー」の事例等を紹介)
DVD 8分36秒

第2号 100円商店街(「100円商店街」の概要説明及び事例紹介)
DVD 9分48秒

3. 発行・配布： 平成22年1月29日～

- (1) 「商店街・賑わい読本」は同フォーラム参加者全員に配布する。また、大阪市内の商店街・商店会、入手を希望する商店街関係者等にも送付する。
- (2) 「商店街・賑わい読本 映像編」は、同フォーラムで初上映する。また、100円商店街への取組みを予定する商店街関係者に配布する。

以 上



大阪商工会議所

「商店街・賑わいプロジェクト」全体概要

○本所の「大阪賑わい創出プラン」第2次アクションプランの重点テーマである「地域商業の活性化支援」の一環として、商店街活性化、賑わい溢れる商店街の裾野の拡大を目指し、平成 20 年度より「商店街・賑わいプロジェクト」を実施している。同事業の主要テーマとしては、「財源確保」、「人材育成・交流」、「地域資源活用」、「地域連携促進」、「地域課題解決」の5項目をとりあげ、それぞれの課題の達成・克服に向け、下記内容にて事業を実施している。



